

# 現行計画の進捗状況の概要

－ いきいき いばらき生活大県プラン －

【 生活大県プロジェクト 】

【 数 値 目 標 】



茨城県

# 現行計画の進捗状況について

## 1 県総合計画の進行管理

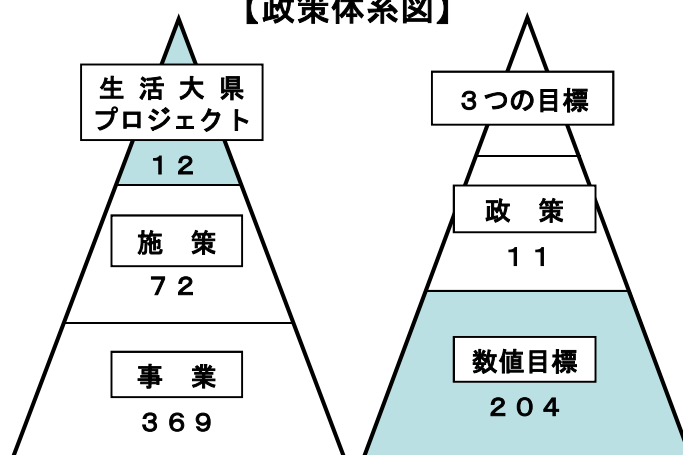
県総合計画「いきいき いばらき生活大県プラン」に掲げた「生活大県」を実現するため、「生活大県プロジェクト」や「数値目標」の進捗状況を、毎年度分析・評価し、PDCAマネジメントサイクルを活用して計画全体の適切な進行管理を図る。

各年度における県総合計画の進捗状況の評価結果については、総合計画審議会に報告し、ご意見をいただいた上で県民に公表するとともに、施策や事業の見直しや次年度の新たな事業等の企画立案に活用させる。

【県総合計画のPDCA】



【政策体系図】



## 2 評価の対象と手順

### (1) 生活大県プロジェクトの評価

県総合計画に位置付けた12の生活大県プロジェクトを「生活大県プロジェクトワーキングチーム」において評価し、進捗状況を「順調」、「概ね順調」、「やや遅れ」、「遅れ」の4段階の区分で評価する。

※参考資料1「平成26年度評価結果について(生活大県プロジェクト)」参照

### (2) 数値目標の進捗状況の評価

県総合計画の3つの目標(住みよいいばらき、人が輝くいばらき、活力あるいばらき)に設定した204項目の数値目標について、年度ごとの目標値である「期待値」に対する進捗状況を「A」、「B+」、「B」、「C」の4段階の区分で評価する。

なお、評価においては、「A」及び「B+」評価が概ね期待した成果が得られたと判断するものとし、併せて昨年度(平成25年度評価結果)との経年比較を実施する。

※参考資料2「平成26年度評価結果について(数値目標)」参照

## 生活大県プロジェクト評価

### プロジェクト評価 (12PJ)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム

○事業評価及び施策評価の結果，県政世論調査結果などを総合的に勘案し，プロジェクトごとに進捗状況の評価。



### 施策評価 (72施策)

【評価主体】生活大県プロジェクト  
ワーキングチーム



### 事業評価 (369事業)

【評価主体】各事業担当課

### 【プロジェクト評価の区分】

施策評価の結果 A (4点)～D (1点)を点数換算し，平均値をとり判定。

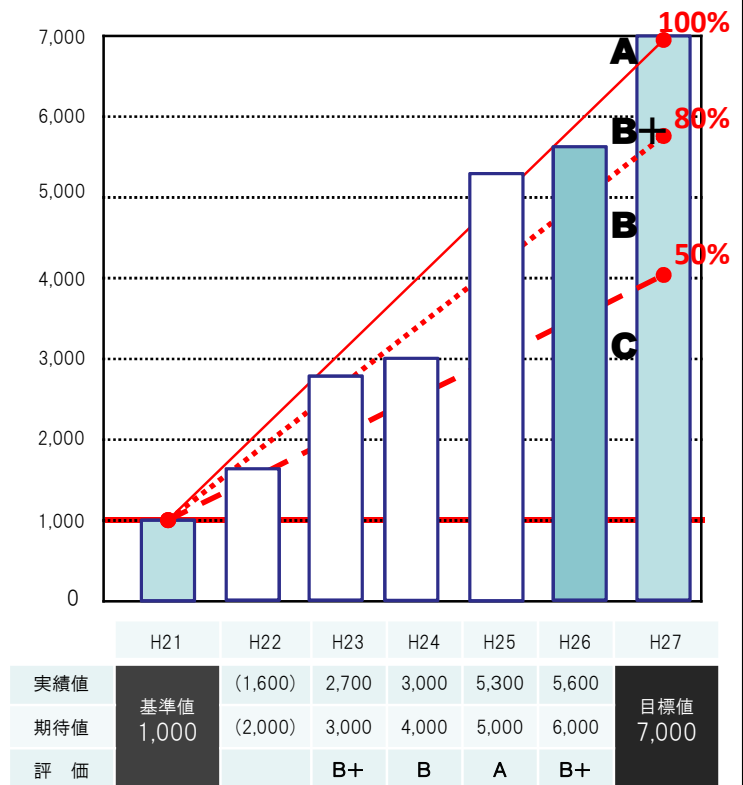
区 分	施策評価の平均値
順 調	4.00～3.5
概ね順調	3.49～3.0
やや遅れ	2.99～2.5
遅 れ	2.5未満

## 数値目標の進捗状況の評価

### 【数値目標の評価区分】

区 分	評価基準
「A」 評価	「実績値」が「期待値」 以上のもの
「B+」 評価	「実績値」が「期待値」の 80～99%のもの
「B」 評価	「実績値」が「期待値」の 50～79%のもの
「C」 評価	「実績値」が「期待値」の 50%未満のもの

※「期待値」とは，年度ごとの目標値。



## 【生活大県プロジェクトの評価結果】

評価	プロジェクト名	評価の理由	今後の対応	H25比較	
概ね順調	2 暮らしの安全・安心PJ	治安対策や交通安全対策の充実、地域防災力の向上、「新しい公共」の活動推進について期待通りの成果。	地域づくり活動の参加促進について、地域ケアシステムにおけるサービスの充実を図る。また、放射性物質についての情報提供や、ハサップ等の導入による食の安全・安心確保に努める。	➡	
	4 未来を担う子ども・若者育成PJ	人間性を育む教育の推進や青少年・若者の自立支援について期待通りの成果。	科学技術やものづくり産業を支える人材の育成に努めるとともに、学校や地域社会、関係団体等が連携して未来を担う人づくりを推進していく。	➡	
	5 高齢者いきいき生涯現役PJ	高齢者の就職支援や生涯学習・生涯スポーツの推進、介護予防と健康づくり等について期待通りの成果。社会活動への参加促進については、期待する成果を下回った。	高齢者が生きがいを持って活躍できる社会づくりを推進するため、社会活動への参加促進を図るとともに、生活交通の維持・確保、買物環境の改善などの高齢者の生活支援については、関係者と連携を図りながら推進する。	⬇	
	6 低炭素社会実現PJ	エコドライブの推進など交通関連対策の推進について期待通りの成果。グリーンイノベーション創出と再生可能エネルギーの導入促進及び森林吸収源対策の推進について前年度より一段階評価を下げた。	国のエネルギー政策や地球温暖化対策の動向を注視的に対応していくとともに、廃棄物の発生抑制等については、ごみの減量化や再資源化を一層推進する。	⬇	
	7 泳げる霞ヶ浦再生PJ	霞ヶ浦の水質(COD)が改善し、第6期霞ヶ浦湖沼水質保全計画の水質目標に達した。	生活排水や農地対策等の水質保全対策等を推進するとともに、水環境保全意識の醸成や霞ヶ浦の魅力の情報発信、交流の推進に取り組む。	➡	
	8 質の高いライフスタイル創造PJ	地域の特色を活かした賑わいのあるまちづくりの推進について期待通りの成果。	科学や文化芸術に親しんでもらうため、広報活動の強化や学習機会の提供、ボランティアの育成に力を入れていく。また、街路や歩道、公園整備など効果的・効率的に事業を進める。	➡	
	9 競争力ある産業育成と雇用創出PJ	地域経済を支える商工業の育成や多様で高度な人材の育成確保、社会基盤の早期復旧と整備促進について期待通りの成果。	最先端の科学技術やものづくり産業の集積を活用した成長分野への参入や新技術・新製品の開発、海外展開等を支援し競争力ある産業の育成を図る。また、積極的な企業誘致を推進し、産業を支える人材の育成・確保にも取り組む。	➡	
	10 いばらき農業成長産業化PJ	震災等の影響を受けながらも、農業産出額は全国2位、東京都卸売市場での農産物シェアについても11年連続で全国1位を維持。	農産物の信頼の確保に向けGAPやエコ農業茨城の取組を進める。また、就農者の確保・育成や農地の集積・集約、儲かる農業の実現のため6次産業化、輸出などの販路拡大を推進する。	➡	
	11 アジアへ広がる観光・交流推進PJ	観光入込客数が震災前の水準に回復するとともに外国人観光客のツアーが急増したほか、茨城空港の利活用について前年度より一段階評価を上げた。	茨城空港の就航先や首都圏等における本県観光の認知度を高めるとともに、訪日客が急増している中国、台湾、東南アジアからの本県への誘客に積極的に取り組むこと等により、国内外からの誘客を促進する。	➡	
	12 いばらきイメージアップPJ	いばらきへの愛着心の醸成やメディアへの情報発信力の強化等について期待通りの成果。また、インターネットを活用した取組強化について前年度より一段階評価を上げた。	風評被害の払拭に向けた情報発信に引き続き努める。また、テレビ広報やアンテナショップ等の活用などにより、県民の郷土への愛着心の醸成に努めるとともに、国内外に向け本県の魅力をより積極的に発信し、イメージアップに取り組む。	⬆	
	やや遅れ	1 地域医療充実PJ	10万人当たりの医師数、就業看護職員数、平均寿命とも全国低位。	医師、看護師等医療従事者の確保対策や医療機関の連携等により、医療体制の充実を図る。また、生活習慣病、がん対策などを推進し、県民の健康に関する意識の向上を図る。	➡
		3 社会全体で取り組む子育て支援PJ	ワークライフバランスの推進や待機児童の解消において期待した成果があがっていない。	保育所整備を推進するなど待機児童の解消に努めるとともに、放課後の居場所づくりなどの拡充を図っていく。また、仕事と生活の調和については一層の事業の周知に努める必要がある。	⬇

※プロジェクトの評価は、各プロジェクトを構成する施策の評価結果を数値で分析するとともに、県政世論調査の結果などを勘案して、「順調」・「概ね順調」・「やや遅れ」・「遅れ」の4段階で評価を行っている。

## 評価結果

### 1 総括評価

- 12の生活大県プロジェクトの進捗状況については、「概ね順調」が10本（83.3%）、「やや遅れ」は2本（16.7%）となり、「順調」及び「遅れ」となったプロジェクト（以下「PJ」）はなかった。
- 進捗が「やや遅れ」のPJは、「1 地域医療充実PJ」,「3 社会全体で取り組む子育て支援PJ」の2PJとなった。
- 昨年度（平成25年度評価結果）との比較では、1本（8.3%）が上回る評価、8本（66.7%）が同様の評価、3本（25.0%）が下回る評価となった。

### 2 プロジェクト別評価

- 「5 高齢者いきいき生涯現役PJ」については、高齢者の就職支援や生涯学習・生涯スポーツの推進などについて期待通りの成果であるものの、社会活動への参加促進については、期待する成果を下回ったことなどから、評価が「順調」から「概ね順調」となった。
- 「6 低炭素社会実現PJ」については、エコドライブなどの交通関連対策の推進について期待通りの成果であるものの、グリーンイノベーション創出と再生可能エネルギーの導入促進及び森林吸収源対策について概ね期待通りの成果に評価を下げたことから、評価が「順調」から「概ね順調」となった。
- 「1 地域医療充実PJ」については、10万人当たりの医師数、就業看護職員数、平均寿命とも全国低位だったことから、評価は昨年度と変わらず「やや遅れ」となった。
- 「3 社会全体で取り組む子育て支援PJ」については、ワークライフバランスの推進や待機児童の解消において期待した成果があがっていないことから、評価が「概ね順調」から「やや遅れ」となった。
- 「12 いばらきイメージアップPJ」については、愛着心の醸成やメディアへの情報発信力の強化等について期待通りの成果をあげたことなどから、評価が「やや遅れ」から「概ね順調」となった。
- また、昨年度から連続して「概ね順調」となった7つのPJについても引き続き着実に取り組んでいく必要がある

## 【数値目標の進捗状況の評価結果】

上段：指標数，下段：割合

区分(政策名)	「A」 評価	「B+」 評価	「B+」 評価以上	矢印は25評価との割合比較	「B」 評価	「C」 評価	計	
	100%以上	80～99%	50～79%		50%未満			
① 住みよい いばらきづくり	(1)医療・保健・福祉が充実した安心できる社会づくり	16 47.1%	3 8.8%	19 55.9%	↓	9 26.5%	6 17.6%	34 (全35指標)
	(2)安全で安心して暮らせる社会づくり	7 50.0%	3 21.4%	10 71.4%	↓	2 14.3%	2 14.3%	14 (全14指標)
	(3)みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり	4 36.4%	2 18.2%	6 54.5%	↑	1 9.1%	4 36.4%	11 (全11指標)
	(4)人にやさしい良好な生活環境づくり	5 45.5%	2 18.2%	7 63.6%	→	2 18.2%	2 18.2%	11 (全11指標)
	計 (指標数 71)	32 45.7%	10 14.3%	42 60.0%	↓	14 20.0%	14 20.0%	70 (全71指標)
② 人が輝く いばらきづくり	(1)いばらきを担うたくましい人づくり	13 37.1%	6 17.1%	19 54.3%	↓	5 14.3%	11 31.4%	35 (全35指標)
	(2)豊かな人間性を育む地域づくり	3 27.3%	2 18.2%	5 45.5%	↓	2 18.2%	4 36.4%	11 (全11指標)
	(3)互いに認め合い支え合う社会づくり	4 33.3%	2 16.7%	6 50.0%	↑	2 16.7%	4 33.3%	12 (全12指標)
	計 (指標数 58)	20 34.5%	10 17.2%	30 51.7%	↓	9 15.5%	19 32.8%	58 (全58指標)
③ 活力ある いばらきづくり	(1)日本や世界をリードする科学技術創造立県の実現	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	↓	2 25.0%	2 25.0%	8 (全8指標)
	(2)国内外の競争に打ち勝つ力強い産業づくり	13 48.1%	2 3.7%	15 55.6%	↓	5 18.5%	7 25.9%	27 (全27指標)
	(3)日本の食を支える食料供給基地づくり	5 27.8%	3 16.7%	8 44.4%	↑	3 16.7%	7 38.9%	18 (全19指標)
	(4)人・もの・情報が活発に行き交う交流社会づくり	8 38.1%	2 9.5%	10 47.6%	↓	8 38.1%	3 14.3%	21 (全21指標)
	計 (指標数 75)	28 37.8%	9 12.2%	37 50.0%	↓	18 24.3%	19 25.7%	74 (全75指標)
合計 (総指標数 204)	80 39.6%	29 14.4%	109 54.0%	↓	41 20.3%	52 25.7%	202 (全204指標)	

※総指標数は204であるが、最新データが未公表等により評価ができないものが2指標あるため、評価対象指標数は202となっている。

※矢印は、「B+」以上の評価の割合について、H25年度実績を同様の区分で評価した場合の評価結果と比較したもの。

# 評価結果

## 1 総括評価

- 「A」評価が80指標で全体の39.6%，概ね期待した成果が得られたと考えられる「B+」評価以上が109指標で全体の54.0%となった。
- 昨年度（平成25年度評価結果）との比較では、「B+」評価以上の割合が増加したのが、11の政策分野中3分野にとどまった。

## 2 目標別評価

### ① 住みよい いばらきづくり（評価指標数：70）

「A」評価が「いばらき出会いサポートセンター利用者等の成婚者数」など32指標（45.7%）、「B+」評価以上が42指標（60.0%）となった。

「みんなで取り組む地球にやさしい環境づくり」については、「公共用水域の環境基準(BOD)達成率」が上昇したこともあり、「B+」評価以上が54.5%と昨年度をやや上回ったが、「医療・保健・福祉が充実した安心できる社会づくり」については、「B+」評価以上が55.9%と昨年度をやや下回った。

安全・安心・快適な県づくりを一層推進するため、医師・看護師等の養成・確保や地域医療の充実、結婚・子育て対策、高齢者や障害者にやさしい社会づくり、治安体制の強化などに引き続き取り組むとともに、省エネルギーの推進など地球にやさしい環境づくりにも力を入れていく必要がある。

### ② 人が輝く いばらきづくり（評価指標数：58）

「A」評価が「四則計算の平均正答率(小6)」など20指標（34.5%）、「B+」評価以上が30指標（51.7%）となった。

「互いに認め合い支え合う社会づくり」については、「B+」評価以上が50.0%と昨年度を上回ったが、「豊かな人間性を育む地域づくり」については、「B+」評価以上が45.5%と昨年度を大きく下回るなど、全体としては、2段階以上評価が低下した指標が4指標あったことなどにより、昨年度を下回る結果となった。

その中であっても、「四則計算(小6・中3)」や「漢字の読み・書き(中3)」の平均正答率が4ヶ年度連続で「A」評価となるなど、児童生徒の学力の向上が着実に図られてきていることから、少人数学級の拡充、英語教育や理数教育の充実など日本の未来を担う人材の育成に一層取り組んでいく。

### ③ 活力ある いばらきづくり（評価指標数：74）

「A」評価が「工場立地面積」や「工場立地件数」など28指標（37.8%）、「B+」以上が37指標（50.0%）となった。

東日本大震災や原発事故等の影響により、進捗が遅れていた「日本の食を支える食料供給基地づくり」については、「B+」評価以上が昨年度を大きく上回って44.4%になったが、依然として「東京都中央卸売市場における県産農産物シェア」や「新規就農者数」などの指標の進捗が伸びず、「C」評価が38.9%と進捗が遅れている。

「漁業生産額」が「A」評価となるなど、原発事故等の影響を受けていた指標に一部回復傾向が見られるが、観光や農林水産業関連の指標については依然進捗が遅れていることから、風評被害の払拭に一層取り組んでいく必要がある。

また、雇用環境の一層の改善を図るため、就職支援や求職者等の資格取得支援などを強化するとともに、働く場所を確保するため、企業誘致や中小企業の成長分野への参入支援、科学技術の集積を活かした新事業・新産業の創出などに更に力を入れていく必要がある。